



校長室だより

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和4年9月15日
第22号

突然ですが、皆さんお気づきでしたか？ このところ本校のHP（ホームページ）のトップページがほぼ毎日更新されています。さほど珍しいことではないと思われるかもしれませんが、特に本校の場合は（管理職や特定の担当者だけではなく）ベテランから若手までほとんどの教員がHPに関わり、輪番でアップしているというのがミソです（まさに「手前ミソ」ですが…）。

HPの業務は広く不特定多数の方に伝わるように学校の取組を紹介することなので、この仕事をするには、教員にとって「社会に開かれた学校づくり」の視野を広げることにつながると思います。また、簡潔な文章の中にも各担当者ならではの思いがにじみ出ているのが興味深いあと感じています。保護者の皆さんもお時間があればHPのトップページを一度チェックしてみてください。最近は運動会練習等、より具体的な学年別の子供たちの様子が紹介できています。それぞれの記事をどの先生が担当したのかを深読みしてみるのも面白いかもしれません。

思い出に残る運動会をいっしょにつくみましょう！

17日（土）の本番に向け、運動会練習と準備が進んでいます。13日（火）は1限に閉開式と荻生小唄、3限に中学年、4限に応援、6限に鼓笛と練習が続きました。練習を重ねるうちに子供たちの顔や手足がどんどん日焼けし、動きもきびきびとし、特に6年生の顔つきが少し精悍になってきたように感じます。日に日に子供たちが頼もしく成長していくさまが分かり、頼もしく思っています。

★感染症&熱中症対策は、許容範囲を広げながら対応しています

今年の運動会もやはりコロナや熱中症など心配なことが多々あります。すでにお知らせしているとおり、子供たちには、各自がそれぞれの体調・体感に合わせて体操服の裾を出したりマスクを外したりすることについて許容しています。ただ今のところは、これまでの習慣がすっかり定着しているからでしょうか、裾出しやマスク外しをしている子は少ないようです。また閉会式の校歌についても、屋外（グラウンド）で間隔を空けて並んでいるので「声を出して歌ってよい」としているのですが、これまで「心の中で歌いましょう」としていたなごりで、なかなか急には声が出ません。こうしたところは感染対策として個人の感覚や感情的な面もあるので、特に一律に強制したり統一したりはしません。当日参観される皆さんには、「シャツの裾を出している子がいるな」「校歌の声が小さいな」「歌っている子といない子がいる」など、ちくはぐな印象を与えるかも知れませんが、あらかじめご理解いただければと思います。

なお、参観の方の人数制限はしませんが、ご家庭ごとに参観者名と検温の申告を受付でしていただきます。ご協力をお願いします。お車の駐車や会場の場所取り等もルールとマナーを守ってください（関係のお便りを今一度確認してください）。お互いに気持ちよくお子さんの応援をしていただければと思います。

★鼓笛演奏、期待しててください！

運動会の華といえば、上学年の「鼓笛演奏」です。13日（火）のグラウンド練習では、鈴木先生の指導の下、皆真剣に通し練習に取り組んでいました。子供たちの思い入れも大変強く、1学期からのオーディションも含め、練習を重ねるうちに素晴らしいものに仕上がってきました。

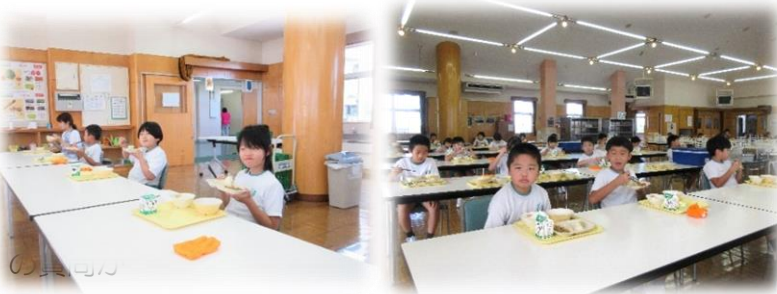
個人的にはこれまで他市町で勤めた9年間、どの小学校でももう鼓笛はしていませんでした。我が子の運動会以来の「生鼓笛」にワクワクしています。皆様も、荻生小伝統の迫力のある演技に期待しててください。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

減らせ、残食！ 給食の方法を一部見直しています

以前より、本校の給食の残食が多いことが気になっていました。1学期末に給食センターからも指摘をいただいたこともあり、2学期からはランチルーム内の座席を変えたり配膳の量をこれまで以上にこまめに調節したりしています。「自分の盛り付け分はなるべく完食するよう呼びかける」「食欲のある子はたくさん食べられるようにする」「落ち着いて食べられるように時間を確保する」など、全校トータルでの残食が少しでも減るようにしています。



最近は「全部食べられた」という子が増え、全校の残食量も以前より減ってきています。今後も取組を続けます。

シリーズ「教室におじゃまします」9/9(金)2年学級活動の巻

この日に8月と9月のお誕生会があると子供たちから聞いていたので、取材させてもらいました。4月から毎月行っているの、係の子供たちもほかの子供たちも、自分たちの動きがよおく分かっているようでした。教室の前の方にみんなで集まり、ちょっと密かな、とも思ったのですが、皆しっかりマスクをしているのでまあよしとしましょうか。

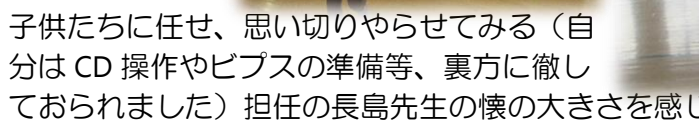
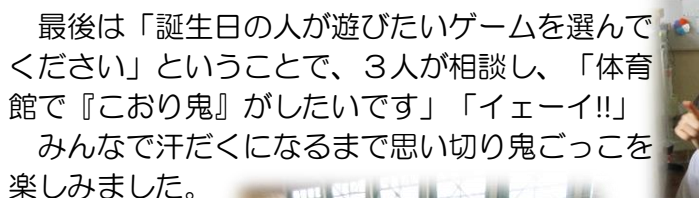
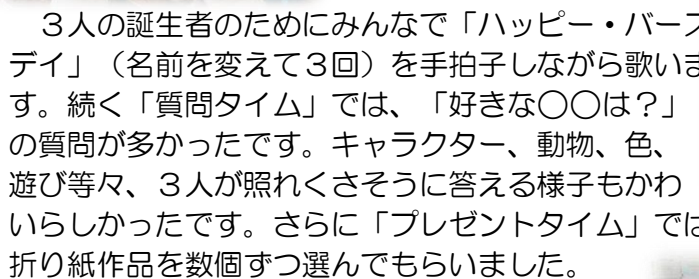
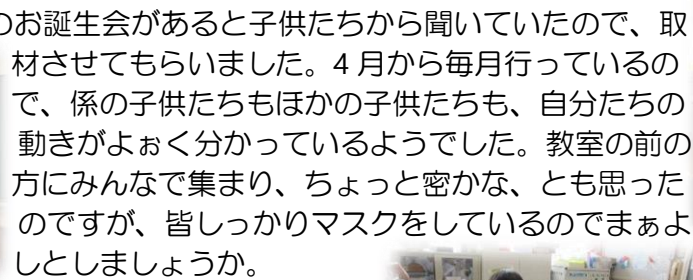
3人の誕生者のためにみんなで「ハッピー・バースデー」（名前を変えて3回）を手拍子しながら歌います。続く「質問タイム」では、「好きな〇〇は？」の質問が多かったです。キャラクター、動物、色、遊び等々、3人が照れくさそうに答える様子もかわいらしかったです。さらに「プレゼントタイム」では3人にそれぞれ好きな折り紙作品を数個ずつ選んでもらいました。

最後は「誕生日の人が遊びたいゲームを選んでください」ということで、3人が相談し、「体育館で『こおり鬼』がしたいです」「イエーイ!!」

みんなで汗だくになるまで思い切り鬼ごっこを楽しみました。

終始自分たちの思うとおりに楽しい会を行うことができ、子供たちは大満足の様子でした。

子供たちに任せ、思い切りやらせてみる（自分はCD操作やピプスの準備等、裏方に徹しておられました）担任の長島先生の懐の大きさを感じました。



おまけの<ひとりごと> 私は小さい頃から走るのが遅く、運動会は苦手でした。楽しみなのはお弁当の時間（太巻き寿司や青リンゴが懐かしい…!）ぐらい。それでも学年が進み、応援や鼓笛（中学では吹奏楽）でようやく自分が少しは輝けそうな場を見つけ運動会の楽しみが広がりました。運動音痴のDNAは子供にも引き継がれ、2人の娘も競技の方はさておき、マスコット係や放送の仕事だけは張り切っていましたっけ…。全校が運動会モードのこの時期、苦手意識をもちながらも何とか乗り切ろうとしている子供への温かいまなざしを忘れないでいたいと思います。※今号よりこの<ひとりごと>でおまけのつぶやきを少々させていただきます。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。